

八尾高の頃

定 16 期 関口正俊氏 (神奈川県議会議員)



横浜に来て 40 年になる。あちこち転居はしたが横浜を離れたことはない。さりとして動機はないが、さっぱりとした気性と崎陽軒のシューマイが理由と言えはいえる。新潟の片田舎で生をうけ、行く末は東京での生活が待っていた。それなら一度は関西の空気を吸ってみようと八尾高（定時制）に入った。昼働き夜学ぶ日々にはそれなりの試練もあったが、若いということはすべてを帳消しにしてくれる楽しみもあった。

時折帰省がてら上京した。新幹線はあったが旅費の節約で湊町から関西線経由で走る「生駒」という夜行列車に乗った。硬い二等席で夜を明かし、横浜のシューマイ 駅弁の朝食が楽しみだった。帰阪では夕食となる。車窓を開け駅弁を求めた時代の話である。

横浜での生活で八尾高を意識することは少なかったが、行きつけの寿司屋を介して同窓会東京支部の幹事さんが近くに住んでいることが分かり、この原稿を依頼された。最寄り駅周辺には 20 名以上の卒業生が住んでいることも知らされた。



最近、近所にお好み焼き屋が開店した。はじめてお好み焼きを食べたのは八尾商店街の一画であったが、ほろ苦い青春の思い出がいっぱい詰まった食べ物でもある。爾来私の好物の一つとなっているが、八尾の血が息づいているのだろう。八尾高を知る仲間とお好み焼きを囲んでひとしきり思い出話に花を咲かせたいと思うこの頃である。

関口さんのホームページは、[こちら](http://www.sekiguti.biz) <http://www.sekiguti.biz>